

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 29 年 9 月 21 日

設置・運営主体	社会福祉法人 花園公益会		
設置主体	社会福祉法人 花園公益会		
経営主体	社会福祉法人 花園公益会		
事業所名 (施設名)	デイサービスセンター かぐや姫	種別	通所介護 介護予防通所介護
所在地	〒369-1246 埼玉県深谷市小前田2670-1		
電話	048-584-7111		
FAX	048-584-7115		
Email	zaitaku.sien@fiowervillea		
URL	http://www.flowervillea.or.jp/		
施設長氏名	管理者 岩田 知子		
調査対応担当者	浅見 加津子 (所属、職名：主任)		
利用定員	45名	開設年	昭和 18 年 5 月 1 日
理念・基本方針			
法人理念 ・心豊かに安心して過ごせる場所でいつまでも自分らしく自分らしい空間で自分らしい時を過ごす。 事業所理念 ・広く、開放的な空間で、心身の健康維持や機能回復・向上、社会的交流などを図りながら、一日をゆったり、楽しく過ごしていただく。 行動目標 ・利用者の皆さんが出来ることは、ご自分で行っていただき、お手伝いが必要なことは、さりげなくサポートいたします。 ・利用者の皆さんに、元気で楽しく過ごしていただけますよう、職員は常に笑顔ではつらつと行動いたします。			
開所時間 (通所施設のみ)	午前8時30分～午後5時30分		

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	名	名	名	名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	名	名	名
					合 計
					名

○老人福祉サービスの場合

60歳未満	60～65歳未満	65～70歳未満	70～75歳未満	75～80歳未満	80～85歳未満
名	1 名	2 名	2 名	20 名	30 名
85～90歳未満	90～95歳未満	95歳以上	合 計		
27 名	19 名	5 名	106 名		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児					
1歳児					
2歳児					
3歳児					
4歳児					
5歳児					
計				—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○障害等の状況（保育所を除く）

・身体障害（障害者手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

障害区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
視覚障害	名	名	名	名	名	名	名
聴覚又は平衡機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
音声・言語、そしゃく機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
肢体不自由	名	2名	1名	名	名	名	名
内部障害（心臓・腎臓、ぼうこう他）	2名	名	名	2名	名	名	名
重複障害（別掲）	名	名	名	名	名	名	名
合計	2名	2名	1名	2名	名	名	名

※区分が異なる複数障害で等級の認定がなされている場合は「重複障害」に記入ください。

・知的障害（療育手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

A ※	B	C
名	名	名

※「A」には丸付きのAを含む。

・精神障害（精神障害者保健福祉手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

精神疾患の区分	1級	2級	3級
統合失調症	名	名	名
そううつ病	名	名	名
非定型精神病	名	名	名
てんかん	名	名	名
中毒精神病	名	名	名
器質精神病	名	名	名
その他の精神疾患	名	名	名
合計	名	名	名

○要介護区分の状況（介護保険対象サービス事業所のみご記入ください。）

自立・要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
20名	25名	24名	18名	10名	5名

○サービス利用期間の状況（保育所を除く）

～6か月未満	6か月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年
19名	20名	29名	6名	24名	名
5年～6年	6年～7年	7年～8年	8年～9年	9年～10年	10年～11年
名	名	名	1名	1名	名
11年～12年	12年～13年	13年～14年	14年～15年	15年～16年	16年～17年
2名	名	名	名	名	名
17年～18年	18年～19年	19年～20年	20年以上		
名	名	名	名		

（平均利用期間： 1年11ヵ月 ）

【職員の状況に関する事項】

○成人施設の場合

	総数	施設長	事務員	主任指導員	指導員
常勤	9名	1名	名	名	名
非常勤	14名	名	名	名	名
	主任介護職員	介護職員	保育士	看護師	OT、PT
常勤	1名	1名	名	2名	1名
非常勤	名	9名	名	1名	1名
	栄養士	介助員	調理員等	医師	その他
常勤	名	名	名	名	1名
非常勤	名	名	名	名	1名

社会福祉士	名（ 名）
介護福祉士	2名（ 2名）
保育士	名（ 名）
	名（ 名）
	名（ 名）

（非常勤職員の有資格者数は（ ）に記入）

○保育所の場合

常勤職員数		人		
うち	保育士	人	保健師・看護師	人
	栄養士・調理員	人	その他（ ）	人
非常勤職員数		人（常勤換算 人）		
うち	保育士	人（常勤換算	人）	
	保健師・看護師	人（常勤換算	人）	
	栄養士・調理員	人（常勤換算	人）	
	その他（ ）	人（常勤換算	人）	
<p>（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>				
（２）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 人	非常勤： 人	
	退職	常勤： 人	非常勤： 人	
（３）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		歳（	歳）	
（４）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		年（	年）	
<p>（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。</p>				

【本来事業に併設して行っている事業】

（保育所を除く）

--

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積	774.62 m ²	
	入所(通所)者1人あたり	17.21 m ² (延べ床面積÷定員)
(2) 居室数 (入所施設の場合)	個室	室
	2人部屋	室
	3人部屋	室
	4人部屋	室
	5人以上の部屋	室
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	26年
(5) 主な設備	身障者用トイレ7カ所、特殊浴槽、一般浴槽、カラオケ機器、 リハビリテーション機器(マシントレーニング機器・並行棒・ 歩行練習用階段・有酸素運動機器) マッサージ機器、地域交流スペース	

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	m ²	
	児童1人あたり	m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	m ²	
	児童1人あたり	m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・アンケートによる調査や(本人・家族)により、サービス利用の満足度や改善の希望などについての情報を収集しています。
- ・毎日ケアマネージャーへの報告のためにモニタリング時には、利用者への要望をお聴きし、サービスの向上の基としています。
- ・また、サービス利用開始時やその他の適宜、献立会議や食事の支援計画を作成し、本人の希望や状態に応じた食事量や食事形態の調整を行っています。
- ・本人の食事の好みや食べられないものに対しても、給食課との連会により、できる限りの対応をしています。
- ・その他、メニューの中から本人が食べたいものを選んでいただくという趣旨から、週に一回、選択食を行っており、ご利用者の方々に、メニューの希望の調査を実施しています。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・当施設では、ご利用者の皆さんが自宅で元気に、出来るだけ自立して生活を続けられるようにリハビリテーションを重点的に行っています。二階にトレーニング機器（マシントレーニングや歩行訓練等）やマッサージ機器を準備すると共に、理学療法士を二名配置して、個別機能訓練を実施しています。
- ・一人ひとりの状況や生活課題に合わせたプログラムを準備し行うことで、「身体が軽くなった」、「足が上がるようになり、風呂も入り易くなった」などと言った声が聴かれるようになり、多くの方にその成果を実感していただいています。また、機械に頼るだけでなく従来からの集団でのレクリエーションや体操などを通じて、楽しみながら体を動かし、体力と筋力の維持、向上を図っています。
- ・認知症ケアについては、専門の資格を持った職員（認知症介護指導者、認知症介護実践者研修者）を配置しており、個別の疾病、症状に応じたケアの提供に努めています。認知症が比較的進行された利用者の方々にとっても、徐々に症状が落ち着いて、安心した生活を送れるとともに、家族やケアマネージャーの方々からも信頼を頂いております。
- ・また、地域の方へ開かれた施設づくりを目指しており、深谷市地域のお茶の間事業、オレンジカフェの開催場所としても機能しております。

【第三者評価の受審状況】

- ・ 受審回数（前回の受審時期）

_____ 回 （平成 _____ 年度）